佐世保市立清水中学校
～あいさつ・心のやさしさ・環境整美日本一の学校を目指して～
第８号　２０１５．９．８（火）発行

ＪＲＣだより

（青少年赤十字　Ｊｕｎｉｏｒ　Ｒｅｄ　Ｃｒｏｓｓ）

文責：ＪＲＣ活動部

ひまわりが元気に花を咲かせています

前期後半がスタートして早１週間が過ぎました。朝晩は急に涼しくなったので、皆さん、体調を崩さないように気をつけて、元気に学校生活を送っていきましょう。

さて、夏休み期間中は、各学級ごとに当番でひまわりの水やりをよく頑張りましたね。皆さんが愛情を持ってひまわりの管理をしてくれたお陰で、現在、ひまわりは美しい花を咲かせています。途中、台風１５号の影響を受け、茎が大きく傾いてしまったものもありましたが、そうした自然の脅威にも負けず、美しい花を咲かせているひまわりを見ていると、何だか私たちまで元気をもらえる気がします。

ところで、今朝の集会で校長先生から紹介がありましたが、昨日、福島県の二本松第二中学校より嬉しいお便りが届きました。その中には、昨年のひまわりプロジェクトで清水中学校が送ったひまわりの種が福島で花を咲かせたという報告とお礼の手紙や写真、二本松第二中学校の生徒会役員の皆さんが寄せ書きをした色紙が入っていました。ひまわりの種が、遠く離れた二本松第二中学校と清水中学校をつなぐ架け橋となったのですね。写真や色紙は、職員室前のＶ．Ｓボードに掲示していますので、ぜひ見に来てください。

今後の予定としては、来月に種の採取をし、乾燥させた後、復興応援のメッセージを添えて、今年もまた福島の皆さんへ送りたいと考えています。引き続き、「福島ひまわり里親プロジェクト」へのご協力よろしくお願いします。

長崎県佐世保市立清水中学校の皆さんへ

皆さん、こんにちは。春先にひまわりの種を送ってくださり、本当にありがとうございました。激励の言葉が綴られた封筒は、廊下に掲示させていただきました。生徒たちは皆足を止めてその言葉を読み、大変元気づけられていたようです。またひまわりの種は通学路に植えさせていただきましたが、写真のようにとてもきれいな花が咲きました。

あの震災から４年がたち、私たちの生活もだいぶ落ち着いてきました。皆さんの言葉にあるように、未来を信じて、前を向いてしっかり歩いて行こうと思います。

今回は皆さんの温かい心が詰まったひまわりの種を送っていただき、本当にありがとうございました。掲示の写真、ひまわりと生徒会役員の写真、生徒会役員による色紙を送らせていただきました。皆さんに紹介していただければ幸いです。

二本松第二中の生徒会担当の先生から届いたお手紙です。

「世界の子どもたちに目を向けて」をテーマにスライド発表を行いました

ＪＲＣ委員会では、本日の生徒集会で「ペットボトルキャップ・プルタブの回収活動」に関する理解を深めてもらおうと、「世界の子どもたちに目を向けて」をテーマにスライド発表を行いました。この発表は、Ｖ．Ｓ活動の一環として自主的に企画提案され、３年生女子６名（村上さん、田代さん、峰松さん、中村さん、木下さん、坂口さん）がスライドにまとめて発表しました。

発表の中で、「発展途上国では毎年４００万人の子どもが亡くなっていること、そのうち予防接種（ワクチン）ができないために亡くなる子どもが１日４０００人いること、ペットボトルキャップ８００個で1人の命が救えること」、「プルタブ約８００ｋｇ（１６０万個）で車いす１台が買えること」がわかりました。

この現状を理解し、各自が意識を高めて、「ペットボトルキャップ・プルタブ回収活動」に取り組んでいきましょう。

■９月１日の全校の回収量は、ペットボトルキャップ　１４,１３０ｇ、プルタブ　１,８５０ｇでした。
なお、今回から回収量の多かった学級への毎月の賞状は廃止し、年度末に感謝状を贈ることになりました。

■**次回の回収日は、９月２８日（月）**です。引き続き、皆様のご協力をよろしくお願いいたします。